

令和5年度川口市文化芸術審議会第4回文化芸術拠点活用方法検討作業 記録簿

日 時 令和6年2月15日(木) 10時～12時

場 所 川口総合文化センター 2階会議室

出席者 (委員) 原田会長

寺久保委員 山下委員 宇田川委員

川田委員 齋藤委員 大西委員

(事務局) 藤田文化推進室長 菅井室長補佐 尾崎主任

(受託事業者) 4名

議 事	発 言 者
<p>【1 開始】</p> <p>【2 会長あいさつ】</p> <p>【3 検討内容 文化芸術拠点活用方法の検討について】 受託事業者により説明</p> <p>よくできていると思う。ひと昔前ではあるが、高知の県立美術館の館長が民間から登用され、その時にとても良い催しがあった。県立美術館には劇場が併設されていて、私自身も埼玉から海外の作品をもって上演にいったことがある。公演を観た方が美術館を訪れていた。美術館の中には高知の特色もあった。報告書の中で事例としてあげられている練馬は、私自身はあまり印象になかったので、事例としては高知のほうがふさわしいのではないかと。</p> <p>もし高知のほうが事例としてふさわしいようであれば差し替える、もしくは高知の事例を追加するよう事務局で検討いただきたい。会長と事務局の責任で追加もしくは差し替えする等の対応をする。</p> <p>練馬区美術館はおもしろい企画があった。目のつけどころが面白い企画が多い。素敵な美術館である。</p> <p>委員がおっしゃったことに賛成。文化施設をつくってきた歴史があるが、美術館に人が集まり、最新の美術・アートをみた先に、伝統文化が観られる、建物に頼るだけではなく、総合的な建設の方法が今後の課題ではないかと。</p> <p>高知の美術館は能舞台がセッティングされていた。能楽堂のようになっていた。伝統芸能の地域振興にもつながっていた。</p>	<p>委員</p> <p>会長</p> <p>委員</p> <p>委員</p> <p>委員</p>

<p>長野の松本美術館に三味線の演奏で行った際に、美術館の方々も着物を着て参加された。</p>	<p>委員</p>
<p>着物のように出し物にあわせて演出するのは良い。</p>	<p>委員</p>
<p>スタッフの人たちのモチベーションにもつながる。</p>	<p>委員</p>
<p>そういった例で考えると、茶道等も実施できると良い。</p>	<p>委員</p>
<p>検討作業のあとに聞いた話だが、牛久現代美術展が精力的に活動している。プロ活動に近い作家による展覧会を実施し、その内覧会に小学生を招待する。作家さんと直接触れ合える。美術の展示だと鑑賞のみとなるが、その展覧会では作家さんと直接会話ができる。そういった実施方法も面白いのではないか。</p>	<p>委員</p>
<p>22頁にテーマソングについての記載があるが、「テーマ」がいいのか。イメージソングとしたほうが良いのか。テーマだと固定されてしまうのではないか。検討してほしい。</p>	<p>委員</p>
<p>事務局で再検討してもらい、必要があれば修正をお任せする。</p>	<p>会長</p>
<p>前もお話したが、以前ニューヨーク市の元開発部長より、参考としてニューヨーク市の文化芸術政策での経済効果のレポートを送ってくれた。800万都市のニューヨークと川口では直接の比較にはならないが、例えば文化芸術政策で経済振興をし、どれくらい経済効果があったのか、事例紹介としてコラム的掲載したいと考えている。</p>	<p>会長</p>
<p>キュポ・ラの図書館のエントランス下に、川口市内の産業の展示がある。実用品として販売できるのも多くある。そういったものをミュージアムショップで扱ってはどうか。また、アトリアでも川口の市産品を扱っていて、面白いものもあるが、直接会社に問い合わせが必要であり、通販でしか手に入らないものもある。出展してもらおうと、市内の振興につながるのでは良いと思う。</p>	<p>委員</p>
<p>本日も今後の発展につながるご意見を色々いただいた。次回の審議会で改めて議論をしたいと思います。次回審議会に、若干の修正はあると思うが、基本的にこの内容で提出するという事によろしいか？</p>	<p>会長</p>
<p>各委員、異議なし、承認。</p>	
<p>【4 終了】</p>	